

競技も応援も熱気にあふれて

ゆうあいピック
ボウリング

5月16日(水)、第26回ゆうあいピックが行われました。

この大会はスポーツを通じて、知的障害ある方の自立と社会参加を勧めるために開催されます。陸上、フライングディスク、水泳、ボウリング、卓球(5月13日開催)が各会場で行われました。

ボウリング競技は、京成千葉中央駅近くのV E G A アサヒボウリングセンターにて144名の選手に参加で開催されました。

千葉市手をつなぐ育成会は、ゆうあいピック事業の委託団体であるためス



真剣に、でも笑顔あふれる競技中

タッフとして参加しています。今回もできる限り選手の皆さんがスムーズに競技を行えるように、50名以上のボランティアさんにご協力を頂きました。ボランティアの皆様には10時の開始式より1時間前の9時に集合しての打合せ、準備、また競技中は各レーンに付いて下さるなど本場にお世話になりました。



選手の皆さんは、ニコニコと期待と

やる気に満ちた表情で

集まり、また応援に駆け

け付けた保護者の方々

もあちらこちらで懐かし

しいお知り合いと挨拶

されるなど、アットホームな雰囲気の中始まりまし

た。競技中は、日頃の練習の成果を発揮され、また

ハイタッチで応援し合うなど、生き生きとした選手

の皆さんの表情が印象的でした。表彰式は3回に分けて行われ、

全員がメダルを首に笑顔で大会を終えることができました。

アサヒボウルのスタッフの皆様には、通常より早くの開場、事前

のシユーズの用意やサイズ交換などでもお世話になり、皆様のご協力

で今年もすばらしい大会になりました。

(広報部 小野塚)

育成会のうごき 3月~6月

- 3月1日 育成会フォーラム&交流会フォーラム
- 2日 育成会代表者及び事務局長会議・行政説明会
- 5・7・13・16日 各区おしゃべり会
- 8・13・15・16日 市内特別支援学校等卒業式
- 11日 千葉ゆうきのライオンズクラブチャリティーディナーショー
- 19日 障害者福祉団体会議
- 22日 千葉市障害者施策推進協議会
- 27日 千葉市社会福祉協議会評議員会
- 4月6・9・10日 市内特別支援学校入学式
- 20日 文化部親睦旅行(鹿島神宮)(本誌 P. 3)
- 21日 さくさべ会、まさご会総会
- 24日 千葉県手をつなぐ育成会総会
- 5月12日 千葉大学教育学部附属特別支援学校評議員会
- 13日 ゆうあいピック(卓球)
- 16日 ゆうあいピック(陸上、水泳、ボウリング)(本誌 P. 4)
- 17日 千葉市肢体不自由児者父母の会総会
- 24日 第65回総会(本誌P1)
- 6月1・6・12・19・20・29日 各区おしゃべり会
- 6日 千葉市立養護学校評議員会
- 8日 施設見学会(樹の実会)
- 9日 稲毛区第303地区民生委員講演会(本誌 P. 2)
- 22日 千葉市事業団評議員会
- 25日 千葉市社会福祉協議会評議員会
- 27日 全国手をつなぐ育成会連合会定時総会

▼寄付の「報告」▲

◆3月11日、千葉ゆうきのライオンズクラブチャリティーディナーショーにお招きを受け、20万円のご寄付をいただきました。

◆でい・まさご式番館に通所されていた、故古川順子様のお母さまから10万円のご寄付をいただきました。

「ありがとうございました。大切にに使わせていただきます」

総会 地域で暮らすために…

平成30年度総会が、5月25日(木)でい・さくさべにて開催されました。出席者63人、委任状339人でした。

14名のご来賓を代表して千葉市保健福祉局高齢障害部部長の鳩川進一様より、福祉計画の作成、共生社会の実現を目指していく等のお話がありました。

平成29年度事業報告、決算報告及び監査報告、平成30年度事業計画案及び予算案、役員一部改選案が承認されました。平成30年度事業計画の基本方針としては昨年に引き続き、地域社会



千葉市 鳩川部長のご挨拶

に知的障害への理解を広げるための啓発活動に取り組み、少しでも障害のある方が地域で暮らしやすくなるために活動を進めます。

また2020年度に当会が担当する「手をつなぐ育成会関東甲信越大会・千葉大会」に向けて実行委員会を立ち上げ、開催計画を進めていきます。

第4号議案では、(社福)千葉市手をつなぐ育成会の新規事業(就労継続支援B型ブルーランジェ、就労移行支援万屋を新規建物に移転)への寄付について承認されました。

総会終了後、久保田顧問から「育成会の会員数の減少に対して、縦のつながりの良さを知っている各会員の皆さんの口コミの力を発揮してほしい」と発言がありました。

(社福)手をつなぐ育成会の伊藤修理理事長からは、でい・まさご、でい・まさご式番館で送迎サービスがスタートしたこと等新規事業についてお話(詳細は本誌p2)がありました。

(広報部 村田)

永年勤続表彰

育成会では、一般企業に20年以上お勤めされた方を表彰しています。今年は、現在、(株)川島屋にお勤めされている長谷川拓弥さんが表彰されました。これからも頑張ってください。



おめでとうございます
長谷川さんとお母様

理解を広げて支援を整える

会長 島田 貴美代

時代の流れと共に、知的障害のある人達の福祉を取り巻く環境は変化してきました。その中で「障害者本人」の高齢化・重度化は確実に進んでいます。3年ごとに見直される障害者総合

支援法では、本人の高齢化・重度化を見据えた支援の整備が始まりましたが、必要な生活の場や医療への対応は待ったなしの問題ととらえて、要望を続けていかなければと思っています。現在取り組んでいる「知的障害」を知ってもらう啓発活動は、

地域の警察官や民生委員の方々を対象に行っていますが、話した分だけ理解が広がっていると実感しています。啓発活動は今後も継続してまいります。

当会も創設63年を迎え、先人の思いを大切に引き受けながら、新たな時代を担う人たちの声を生かした活動・運動体になっっていくことも必要であると考えています。今後も会員の皆様の声をお聞きしながら進めていきたいと思っていますので、ご協力をお願いいたします。

▼今年度の正副会長▲

氏名	役職	担当部	担当委員会
島田 貴美代	会長		はたらく
長谷川 悦子	副会長	ソーイング部	あんしん
土戸 博子	副会長	文化部	はたらく
佐久間 光正	副会長	研修部	せいかつ
大里 千春	副会長	広報部	せいかつ
成田 智子	副会長	レク部	こども

（社福）千葉市手をつなぐ育成会
**平成30年度新規事業計画と
 職員研修のご報告**

【お世話になって20年】

日頃より、（社福）千葉市手をつなぐ育成会（以下法人育成会）に多大なお力添え、御理解を賜り、厚く御礼を申し上げます。平成30年は、法人設立より20年目を迎えます。これもひとえに、千葉市手をつなぐ育成会（以下育成会）の親御さん方が法人育成会と車の両輪として活動して下さっている賜物と感謝しております。また、今年度の育成会総会におかれまして、就労事業所新規立ち上げを使途として300万円のご寄付が承認され、重ねて御礼申し上げます。

【平成30年度法人事業計画より】

育成会の総会終了後、法人理事長伊



「親の思い」を伝える島田会長

藤より、平成30年度事業計画重点項目の説明をさせていただきました。就労事業の建物改修工事、「でい・さくさべ」の空調を含めた大規模修繕、「でい・まさご」「でい・まさご式番館」における送迎サービスに関してお伝えしています。

ここで、就労新規事業の新着情報をお伝えします。新規事業所の名称は「よぶ・さくさべ」に決定いたしました。事業所の場所は「でい・さくさべ」に隣接し、駐車場からの行き来が可能な立地です。一階はシフォンケーキ・パンを製造・販売する就労継続B型事業（定員10名）、2階は就労を目指す方々が訓練する就労移行支援事業（定員10名）です。平成18年通所更生の時代より「でい・さくさべ」では、就労への支援を開始していました。その後各々就労に繋がった40名以上の方々に對しては、継続的に就労定着支援を実施してきました。また、パン作りに取り組んできた活動は、平成25年に通所更生から就労継続支援B型事業に移行しています。「よぶ・さくさべ」の立ち上げには、長い年月をかけた利用者さんと職員の、就労を目指す熱い思いが集結しています。

【「親の思い」をつなぐ育成会の役割
 Ⅱ 法人内職員研修より】

法人育成会の今年度の運営方針には、「育成会との連携強化」も挙げております。その運営方針にのっとり、

6月13日（水）法人内職員研修として、育成会 島田貴美代会長に『親の思い』をつなぐ育成会の役割』と題して、ご登壇していただきました。育成会の成り立ちから現在の啓発活動に至るまでの63年の歴史を学ぶだけではなく、島田会長ご自身のご経験から「日々の支援を見直す」多くのものを学ばせていただきました。障害があっても、可能性を見出し、日々の小さい積み重ねを大切にされるというお言葉が印象に残っております。お子さんを支援して下さった職員からの「よく、ここので（がんばって）育ててくれましたね」の一言で心が解凍されたとの体験談をうかがい、親御さんの思いに寄り添う支援ができているか、利用者さん・ご家族の心の琴線に触れる言葉がかけられているかを自らに問い直す機会となりました。制度・政策に関しては「思いを届けてかなえてもらう」組織としての役割を力強く語られ、制度が整備されていない時代を生き抜いてこられた先人のご苦労にも触れて下さいました。

「親子の気持ちを改めて深く考え、一緒に支えあっていくことが大切だと感じた。育成会のことを聞く機会は絶対に必要なと思う。」―研修後の職員アンケートからの抜粋です。これらの感想を受けて、「育成会との連携強化」を再び心に誓った研修会でした。

（でい・さくさべ 濱本典子）

「地域」で生きる

～育成会啓発活動

6月9日（土）、稲毛区第303地区民生委員の方々の集まりで、知的障害者について話をする機会をいただきました。

最初に、島田会長より知的障害者の特性と、その時々に対応してもらいたいこと、また、生活面では、街の中で家族と暮らし、グループホームやアパートで暮らすなど選択肢が増えてきたことを伝えました。次に3名の親（傍島洋子さん、成田智子さん、大里）から障害のあるわが子についての具体的な話をしました。

会場からは『障害者との接し方は？子育てで大切にしていることは？』などの質問や、『子供の出来ることを伸ばす事が大事』という意見もあり、皆さん、とても真剣にお話を聞いていただきました。

（副会長 大里）



小中台公民館にて啓発活動

▼第4次千葉市障害者計画
 ▼第5期千葉市障害福祉計画
 ▼第1期千葉市障害児福祉計画

この計画は、千葉市の障害者福祉の基盤となるもので、

●障害者基本法に基づく「千葉市障害者計画」

●障害者総合支援法に基づく「千葉市障害福祉計画」

●児童福祉法に基づく「千葉市障害児福祉計画」

この3つの計画が一体的に策定されています。今年度から障害児福祉計画が盛り込まれました。

【千葉市の現状から】

現在千葉市では、障害者やその家族の高齢化が進展し、既存の制度のみでは解決が難しい課題を抱えている人や、医療技術の発展によって医療的ケアを必要とする障害児の増加、社会情勢の変化によって顕在化した精神障害者や発達障害者も増加しています。

これらの課題はさまざまな問題が相互に関連していて、短期的に結果を出すことは難しい状況にあるため、総合的に捉え長期的な

視点を持って取り組む必要があることから、千葉市の10年後の共生社会に向けたビジョンとして、平成29年4月に「千葉市における障害福祉施策に係る中長期指針」が策定されました。

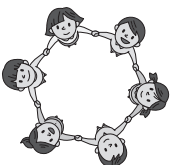
【社会参加を目指して】

この中長期指針を踏まえた第一段階の実施計画として、平成30年度からの3年間を計画期間とする「第4次千葉市障害者計画、第5期千葉市障害福祉計画、第1期千葉市障害児福祉計画」は、障害者が地域の中で自立した生活を送り、障害の有無によって分け隔てられることなく社会参加ができることを目指して、相談支援、地域生活支援、保健・医療、教育、生活環境など幅広い分野を対象とした障害者施策の総合的な計画として策定されています。

【重点課題は】

- ①親亡き後を見据えた支援
- ②発達障害者への支援
- ③重度の障害のある方たちへの支援の3項目です。

そして今回の計画には、東京2020オリンピック・パラリンピックの開



催を契機に、障害及び障害者への理解と認識を深め、スポーツや文化を通じて交流できる様々なイベントを開催し、障害者がスポーツに取り組み、健康づくりや生きがいづくりに繋がる支援の充実が盛り込まれています。

（会長 島田 貴美代）



4月20日（金）、初めて文化部主催の親睦旅行に参加しました。今回は千葉県を飛び出し、茨城県の鹿島神宮へ行ってきました。

「おはようございます！」の挨拶とともにバスに乗り込み、お互いの近況報告に忙しくしていると、車窓には水上鳥居としては日本最大級の西の一之鳥居が現れ、いよいよ鹿島神宮です。

当日はお天気にも恵まれ暑いくらいでしたが、大鳥居をくぐると、涼しく心地よい空気に包まれました。この大鳥居は以前は石造りのため、東日本大震災で倒壊。境内の杉四本を使用して、平成二十六年に竣工し、復興のシンボルとして親しまれているそうです。新緑の綺麗な参道をふるとガイドさんの説明を聞きながら参拝し、パワースポットや森林浴を楽しみました。

昼食は大鳥居近くのお店で、品数の多さに驚きながらも楽しいおしゃべり



鹿島の地で心身リフレッシュ

日頃お会いする機会の少ない会員同士ですが、一日同じ時間を共有することで、さらに一体感が高まった感じがしました。今年は御礼状も頂き、益々来年度も皆さんに楽しんで頂けるバス旅行を企画したいと思いました。

（文化部 川井）